

品質管理試験データ表及び管理図表 出来形管理図表

1. 材料使用届【Ⅰ】【Ⅱ】	18-2
2. 工事主要材料使用総括表【Ⅰ】【Ⅱ】	18-3
3. 品質管理一覧表【Ⅰ】【Ⅱ】	18-4
4. 出来形管理一覧表【Ⅰ】【Ⅱ】	18-5
5. 出来形管理図表【Ⅰ】～【Ⅹ】	18-6
6. 混合物温度管理図	18-11
7. 舗装路面の平坦性測定表	18-12
8. コア切取・厚さ・アスファルト量・密度試験結果表	18-13
9. コンクリートのスランプ及び空気量試験表	18-13
10. コンクリート圧縮強度試験管理図表【Ⅰ】【Ⅱ】	18-14
11. JIS A 1214 砂置換法による土の密度試験表	18-15
12. JIS A 1215 平板載荷試験表	18-16
13. JIS A 1102 骨材のふるい分け試験表	18-17
14. 骨材試験成績表 C-40	18-18
15. 骨材試験成績表 M-30	18-19
16. 骨材試験成績表	18-20
17. 突固めによる土の締固め試験表	18-21
18. 土の液性限界・塑性限界試験表	18-22
19. C B R 試験表	18-23
20. アスファルト混合物（抽出密度）試験結果通知書	18-24
21. コンクリート圧縮強度試験結果通知書	18-25
22. 出来形管理表	18-26
23. 出来形管理図	18-27
24. 排水性・透水性舗装の現場透水量試験	18-28
25. テストハンマーによる強度推定調査結果	18-29
26. コンクリートの単位水量試験表	18-30

材 料 使 用 届 (I)

年 月 日

殿

受 注 者

現場代理人

下記の通り使用材料を提出いたします。

工事番号		施工場所		工期	年 月 日 から	
工事名		場所			年 月 日 まで	

使 用 材 料				産 地 又 は 製 造 工 場		添 付 書 類		備 考 (配合計画期限等)
名 称	規 格	単 位	数 量	県内		配合計画書→A 配合設定書→B 試験成績書→C その他→資料名		

本工事について、上記の材料使用を承諾します。

なお、配合等期限を過ぎて使用する場合、又は製造工場等に変更のある場合は再届出すること。

年 月 日

監督員

監督員

印

印

材 料 使 用 届 (II)

年 月 日

使 用 材 料				産 地 又 は 製 造 工 場		添 付 書 類		備 考 (配合計画期限等)
名 称	規 格	単 位	数 量	県内		配合計画書→A 配合設定書→B 試験成績書→C その他→資料名		

工 事 主 要 材 料 使 用 総 括 表 (I)

工事番号	事務所名	受注者
工事名	監督員	現場代理人又は
工期 年月日～年月日	監督員	施工管理担当者

材 料 名 称		設 計 内 容					数 量			差	備 考
名 称	規 形 状 寸 法	工 種	名 称	細 別	単 位	数 量	単 位	① 設 計	② 使 用	②-①	

工 事 主 要 材 料 使 用 総 括 表 (II)

材 料 名 称		設 計 内 容					数 量			差	備 考
名 称	規 形 状 寸 法	工 種	名 称	細 別	単 位	数 量	単 位	① 設 計	② 使 用	②-①	

品質管理一覽表 (I)

工事番号	事務所名	受注者
工事名	監督員	現場代理人又は
工期 年 月 日～ 年 月 日	監督員	施工管理担当者

工種	名称	細別	設計数量	単位	管理基準					規格値	備考	試験及び管理結果		監督員 合判 否定
					試験管理 項目	試験管理 数量	試験管理 頻度	試験管理 回数	試験管理 方法			試験管理 回数	最大値 最小値	

品質管理一覽表 (II)

工種	名称	細別	設計数量	単位	管理基準					規格値	備考	試験及び管理結果		監督員 合判 否定
					試験管理 項目	試験管理 数量	試験管理 頻度	試験管理 回数	試験管理 方法			試験管理 回数	最大値 最小値	

出 来 形 管 理 一 覧 表 (I)

工 事 番 号	事 務 所 名	受 注 者
工 事 名	監 督 員	現 場 代 理 人 又 は
工 期 年 月 日 ~ 年 月 日	監 督 員	施 工 管 理 担 当 者

工 種	名 稱	細 別	設 計 数 量	單 位	管 理 基 準					管 理 結 果			監 督 員 否 定 合 判
					管 理 項 目	管 理 頻 度	管 理 回 数	規 格 値	備 考	管 理 回 数	最 大 値	平 均 値 (結 果 値)	
											最 小 値		

出 来 形 管 理 一 覧 表 (II)

工 種	名 稱	細 別	設 計 数 量	單 位	管 理 基 準					管 理 結 果			監 督 員 否 定 合 判
					管 理 項 目	管 理 頻 度	管 理 回 数	規 格 値	備 考	試 験 管 理 回 数	最 大 値	平 均 値 (結 果 値)	
											最 小 値		

出 来 形 管 理 図 表 (I)

工事番号

工事名

工 期 年 月 日 ~ 年 月 日

工 種

受 注 者

担 当 者

測定項目	測点								備考 (略図等)
	区分	計 値							
	設 計 値								
	測 定 値								
	差								
規格値	SU								
	CL								
	SL								
	設 計 値								
	測 定 値								
	差								
規格値	SU								
	CL								
	SL								
	設 計 値								
	測 定 値								
	差								
規格値	SU								
	CL								
	SL								
	設 計 値								
	測 定 値								
	差								
規格値	SU								
	CL								
	SL								

出 来 形 管 理 図 表 (II)

測定項目	測点								備考 (略図等)
	区分	計 値							
	設 計 値								
	測 定 値								
	差								
規格値	SU								
	CL								
	SL								
	設 計 値								
	測 定 値								
	差								
規格値	SU								
	CL								
	SL								
	設 計 値								
	測 定 値								
	差								
規格値	SU								
	CL								
	SL								

出来形管理図表 (Ⅲ)

工事番号		事務所名		受注者	
工事名		監督員		測定者	
工期	年 月 日 ~ 年 月 日	監督員			
工種名		監督員			

測定値	測 点		規格値	設計値	測定値	測定値	測定値	測定値	測定値	測定値	測定値	測定値	測定値	測定値	測定値	測定値	測定値	測定値	
	掘削高																		
	上	下																	
掘削測定値の	掘削高	規格中心 (DL)	±0																
	掘削高	規格中心 (DL)	±0																
	掘削高	規格中心 (DL)	±0																
上設測の	掘削高	規格中心 (DL)	±0																
	掘削高	規格中心 (DL)	±0																
	掘削高	規格中心 (DL)	±0																
下設測の	掘削高	規格中心 (DL)	±0																
	掘削高	規格中心 (DL)	±0																
	掘削高	規格中心 (DL)	±0																
<p>摘要</p> <p>(注) 1. 測定値欄は、設計値は測定値との差を記入する。必要に応じ設計値又は測定値 2. 上限・下限規格値線は赤書きとする。</p>																			

出来形管理図表 (Ⅳ)

測定値	測 点		規格値	設計値	測定値	測定値	測定値	測定値	測定値	測定値	測定値	測定値	測定値	測定値	測定値	測定値	測定値	測定値	
	掘削高																		
	上	下																	
掘削測定値の	掘削高	規格中心 (DL)	±0																
	掘削高	規格中心 (DL)	±0																
	掘削高	規格中心 (DL)	±0																
上設測の	掘削高	規格中心 (DL)	±0																
	掘削高	規格中心 (DL)	±0																
	掘削高	規格中心 (DL)	±0																
下設測の	掘削高	規格中心 (DL)	±0																
	掘削高	規格中心 (DL)	±0																
	掘削高	規格中心 (DL)	±0																
<p>摘要</p> <p>(注) 1. 測定値欄は、設計値は測定値との差を記入する。必要に応じ設計値又は測定値 2. 上限・下限規格値線は赤書きとする。</p>																			

出 来 形 管 理 図 表 (V)

工事番号		事務所名	
工事名		監督員	受注者
工期	年月日～年月日	監督員	測定者
工種名			

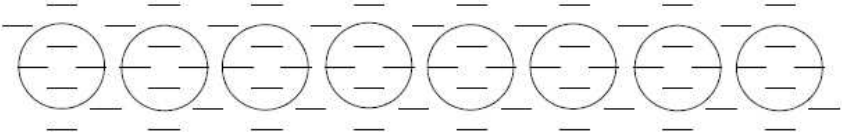
測 点																				
測定値	土 被 り 高																			
	長 さ (区間)																			
	中 心 線																			
土被り高 設計と 測定 の 差	上限規格値 (SU)	±0																		
	規格中心 (OL)																			
	下限規格値 (SL)	-150																		
中心線 設計と 測定 の 差	上限規格値 (SU)	+100																		
	規格中心 (OL)	±0																		
	下限規格値 (SL)	-100																		
摘 要 (注) 1. 測定値欄は、設計値は測定値との差を記入する。必要に応じ設計値又は測定値 2. 上限・下限規格値線は赤書きとする。																				

出 来 形 管 理 図 表 (VI)

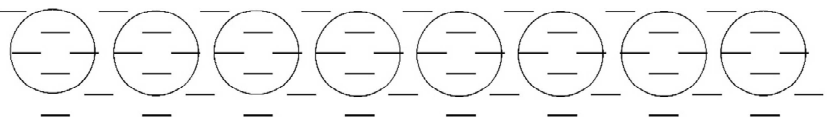
測 点																				
測定値	土 被 り 高																			
	長 さ (区間)																			
	中 心 線																			
土被り高 設計と 測定 の 差	上限規格値 (SU)	±0																		
	規格中心 (OL)																			
	下限規格値 (SL)	-150																		
中心線 設計と 測定 の 差	上限規格値 (SU)	+100																		
	規格中心 (OL)	±0																		
	下限規格値 (SL)	-100																		
摘 要 (注) 1. 測定値欄は、設計値は測定値との差を記入する。必要に応じ設計値又は測定値 2. 上限・下限規格値線は赤書きとする。																				

出 来 形 管 理 図 表 (Ⅶ)

工事番号		事務所名		受注者	
工事名		監督員		測定者	
工期	年 月 日～ 年 月 日				
工種名					

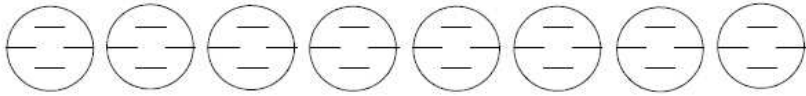
管径(管厚)										備 考
名	称									
寸	法									
管 体 番 号										
内 面 タ ー ル エ ポ キ シ 外 面 ア ス フ ァ ル ト ビ ニ ロ ン ク ロ ス										内面の測定値は内面、 外面の測定値は外面に 記入する。
ホリデーディ テクター検査	内面 外面									
X 線 検 査										等級を記入
溶接年月日	内面 外面									
塗装年月日	内面 外面									検査年月日を記入
厚 さ	内 面	上 規 格 中 心	+0.2 mm							測定値は最小値を使用
	外 面	上 規 格 中 心	±0 mm							

出 来 形 管 理 図 表 (Ⅷ)

管径(管厚)										備 考
名	称									
寸	法									
管 体 番 号										
内 面 タ ー ル エ ポ キ シ 外 面 ア ス フ ァ ル ト ビ ニ ロ ン ク ロ ス										内面の測定値は内面、 外面の測定値は外面に 記入する。
ホリデーディ テクター検査	内面 外面									
X 線 検 査										等級を記入
溶接年月日	内面 外面									
塗装年月日	内面 外面									検査年月日を記入
厚 さ	内 面	上 規 格 中 心	+0.2 mm							測定値は最小値を使用
	外 面	上 規 格 中 心	±0 mm							

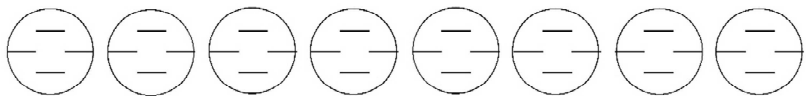
出 来 形 管 理 図 表 (IX)

工事番号		事務所名		受注者	
工事名		監督員		測定者	
工期	年月日～年月日	監督員			
工種名	ダクタイル鋳鉄管接合	監督員			

管径(型、種管)										備 考
名 称										
寸 法										
管 体 番 号										
胴 体 間 隔 b_1, b_2										外面よりの測定値 b_1, b_1, b_1, b_1 を 記入。 内面よりの測定値 b_2 を各々記入する。
接 合 年 月 日										
接 合 確 認 者										トルクレンチの確認者
接 合 配 管 図										

(注) 測定者とは胴付間隔の確認者をいう。

出 来 形 管 理 図 表 (X)

管径(型、種管)										備 考
名 称										
寸 法										
管 体 番 号										
胴 体 間 隔 b_1, b_2										外面よりの測定値 b_1, b_1, b_1, b_1 を 記入。 内面よりの測定値 b_2 を各々記入する。
接 合 年 月 日										
接 合 確 認 者										トルクレンチの確認者
接 合 配 管 図										

(注) 測定者とは胴付間隔の確認者をいう。

混 合 物 温 度 管 理 図

工事番号														年 月 日 ~ 年 月 日		
工事名														測 定 者		
混合物の種類																
温 度 ℃	台 数															
	190															
	180															
	170															
	160															
	150															
	140															
	130															
	120															
	110															
	100															
	90															
														最 高	最 低	平 均
														発 温 度		
														数均し温度		
発 温 度																
数 均 し 温 度																
測 定 月 日																

舗装路面の平坦性測定

工事番号														
工事名														
測定区間	~	試験年月日	年	月	日									
測線の位置														
測定距離	m													
測定器の種類														
試験者														

No.	d	d ²	No.	d	d ²	No.	d	d ²	No.	d	d ²	No.	d	d ²
計	^①	^②	計	^①	^②	計	^①	^②	計	^①	^②	計	^①	^②
計	^①	^②	計	^①	^②	計	^①	^②	計	^①	^②	計	^①	^②
③	Σ① (mm)			⑥	各シートのΣ③ (mm)			*						
④	Σ② (mm ²)			⑦	各シートのΣ④ (mm ²)			*						
⑤	データ数			⑧	各シートのΣ⑤			*						
⑨	標準偏差			$\sqrt{(\frac{\text{⑦}-\text{⑥}^2}{\text{⑧}})/(\text{⑧}-1)}$ (mm)										

備考

注) *印の欄は最後のデータシートのみ記入する。

コア切取、厚さ・アスファルト量・密度試験結果表

工事番号					工 種 名				
工事名					合 材 種 類				
事務所名					監 督 員				
受注者					測 定 者				

項 目	基 準 値	測 定 値				規 格 判 定 値
		n	最 大 値	最 小 値	平 均 値	
厚 さ						
アスファルト量						
密 度						

項目	測点		測 定 値				規 格 判 定 値
	測定値	設定値	n	最大値	最小値	平均値	
厚 さ cm	測定値						
	設定値						
アスファルト量 %	測定値						
	設定値						
密 度 g/cm ³	測定値						
	設定値						

コンクリートのスランプ及び空気量試験

工事番号					コンクリートの種類				
工事名					試 験 者				

ス ラ ン プ	試験回数	回	最大値	cm		平均値	cm		規格値	cm	
				cm	%		cm	%		cm	%
空 気 量											
番 号											
試 験 月 日											
天 候											
ス ラ ン プ											
設 計 値 の 差											
ス ラ ン プ	+3.0										
	2.5										
	2.0										
	1.5										
	1.0										
	0.5										
	0										
	0.5										
	1.0										
	1.5										
	2.0										
2.5											
-3.0											
空 気 量											
設 計 値 の 差											
空 気 量	+2.0										
	1.5										
	1.0										
	0.5										
	0										
	0.5										
	1.0										
	1.5										
-2.0											

コンクリート圧縮強度試験管理図表 [I]

(曲げ・引張強度試験もこれに準ずる)

工事番号 工事名 工種名		事務所名 監督員 受注者 現場代理人		強度試験 実施機関名 試験者											
供試体番号	製年月日	作年月日	試験日(日)	材令	供試体寸法 直径(cm) 高さ(cm)	見掛密度 (kg/m ³)	スランブ (cm)	空気量 (%)	圧縮強度 (N/mm ²)	圧縮強度平均値 (N/mm ²)	養生方法	供試体の 破壊状況	備考		
1															
2															
3															
1															
2															
3															
1															
2															
3															
1															
2															
3															
1															
2															
3															
管理図	供試体番号														
	圧縮強度														
	N/mm ²	CL	LL												
示方配合	粗骨材の最大寸法 (cm)	スランブの目標値 (cm)	空気量の目標値 (cm)	水セメント比 (w/c) (%)	細骨材率 (S/a) (%)	単位量 (kg/m ³)						その他の指示事項			
						水(W) 量	セメント(C) 種類	細骨材(S) 種類	粗骨材(G) 種類	量	量	量	量	量	
設計基準強度	N/mm ²	設計基準強度保証材令	日	基準スランブ	cm	基準空気量	%	その他							

注1. 試験を(一財)茨城県建設技術管理センターで行った場合は、別に試験データを送付し、該当欄に転記して管理図を作成する。なお、試験番号及び印を省略してもよい。
注2. 管理図に、設計基準強度の85%を下限規格値として書き添えること。

コンクリート圧縮強度試験管理図表 [II]

(曲げ・引張強度試験もこれに準ずる)

供試体番号	製年月日	作年月日	試験日(日)	材令	供試体寸法 直径(cm) 高さ(cm)	見掛密度 (kg/m ³)	スランブ (cm)	空気量 (%)	圧縮強度 (N/mm ²)	圧縮強度平均値 (N/mm ²)	養生方法	供試体の 破壊状況	備考		
1															
2															
3															
1															
2															
3															
1															
2															
3															
1															
2															
3															
1															
2															
3															
1															
2															
3															
管理図	供試体番号														
	圧縮強度														
	N/mm ²	CL	LL												
示方配合	粗骨材の最大寸法 (cm)	スランブの目標値 (cm)	空気量の目標値 (cm)	水セメント比 (w/c) (%)	細骨材率 (S/a) (%)	単位量 (kg/m ³)						その他の指示事項			
						水(W) 量	セメント(C) 種類	細骨材(S) 種類	粗骨材(G) 種類	量	量	量	量	量	
設計基準強度	N/mm ²	設計基準強度保証材令	日	基準スランブ	cm	基準空気量	%	その他							

注1. 試験を(一財)茨城県建設技術管理センターで行った場合は、別に試験データを送付し、該当欄に転記して管理図を作成する。なお、試験番号及び印を省略してもよい。
注2. 管理図に、設計基準強度の85%を下限規格値として書き添えること。

JIS A 1214 砂置換法による土の密度試験

受付年月日	年 月 日	試験年月日	年 月 日
工事番号			
工事名			
工 種		試 験 者	
①試験用砂の密度	ロートとベースプレートの体積	②ロートとベースプレートの体積を満たす砂の質量	
g/cm^3	g/cm^3	g	

I. 試験孔から取出した湿潤・乾燥質量・含水比の測定

測点	1	2	3
ma ③ (湿土)+(容器)質量 g			
mb ④ (乾土)+(容器)質量 g			
mc ⑤ 容 器 質 量 g			
ma-mc ⑥ 湿 土 質 量 ③-⑤ g			
ms ⑦ 乾 土 質 量 ④-⑤ g			
mw ⑧ 水 の 質 量 ⑥-⑦ g			
w ⑨ 含 水 比 ⑧/⑦*100 %			

2. 試験孔の体積測定と土の密度

* 現場で測定するもの

	1	2	3
*⑩ 測定器に砂を満たした質量 g			
*⑪ 測定器と残った砂の質量 g			
⑫ 試験孔とロートに入った砂の質量 ⑩-⑪ g			
⑬ 試験孔に入った砂の質量 ⑫-② g			
⑭ 試験孔の体積 ⑬/① g/cm^3			
⑮ 土の湿潤密度 ⑥/⑭ g/cm^3			
⑯ 土の乾燥密度 ⑦/⑭ g/cm^3			
締め固め度 ⑯/⑮*100 %			

平均値	⑰ 土の湿潤密度	$\rho_t =$	g/cm^3
	⑱ 土の乾燥密度	$\rho_d =$	g/cm^3
	⑲ 含 水 比	$w =$	%
	⑳ 最大乾燥密度 ρ_{dmax}		g/cm^3
	締め固め度		%
	合格判定値		% 以上

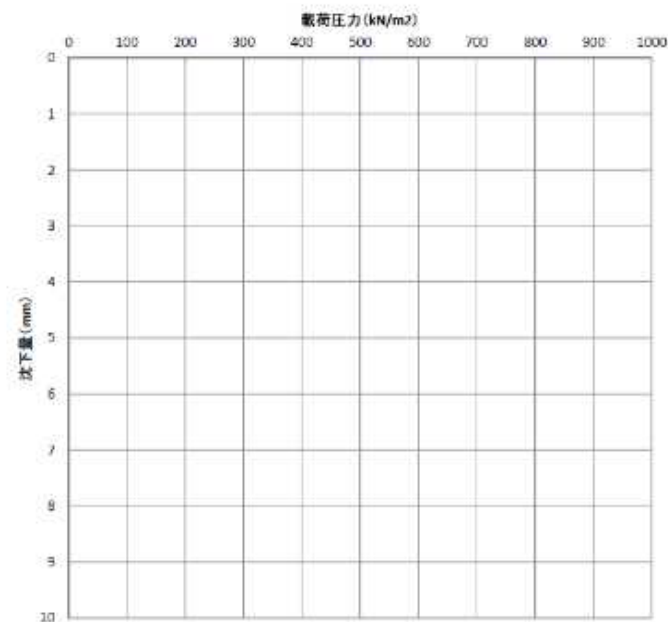
最大粒径	mm
------	----

備考

JIS A 1215準拠 平板載荷試験

工事番号			
工事名			
測点		天候	
工種		試験者	
載荷板の直径	300	mm	試験年月日
載荷板の面積	0.07065	m ²	年 月 日
			計算に用いた沈下量
			mm

全荷重 KN	荷重強度 kN/m ²	ダイヤルゲージの読み 1/100mm			沈下量 mm
		左	右	平均値	
0	0				
5	71				
10	142				
15	212				
20	283				
25	354				
30	425				
35	495				
40	566				
45	637				
50	708				



$$K_{30} = \frac{\text{荷重強度}}{\text{沈下量}}$$

$$K_{30} = \text{—————} = \text{MN/m}^3$$

(注)

下層路盤工

$$K_{30} = \frac{\text{荷重強度}}{\text{沈下量}} \geq 180 \text{ MN/m}^3$$

JIS A 1102 骨材のふるい分け試験（粒径加積曲線図）

工事番号				
工事名				
試料名	試験年月日	年	月	日
測点番号	試験者			

ふるい目	残留質量 g	残留率 %	加積残留率 %	加積通過率 %
計				

受付番号

骨材試験成績表

報告用紙

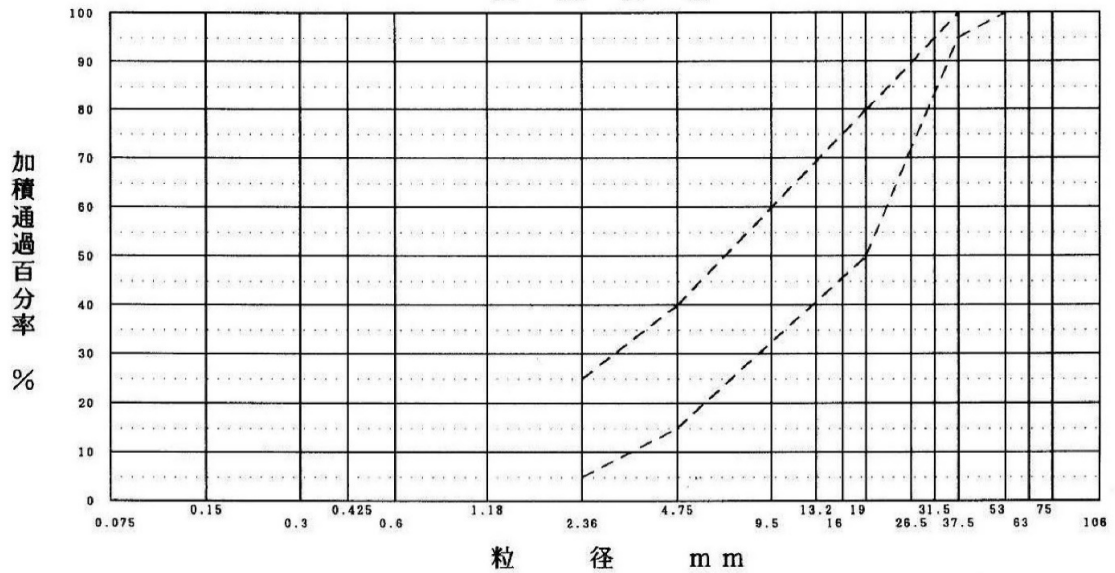
受付年月日 年 月 日	試験年月日 年 月 日
工事名	
工事場所	
骨材種別 C-40	採取箇所

試験項目名	試験値
最適含水比 (%)	
最大乾燥密度 (g/cm ³)	
修正CBR (%)	
塑性指数	

粒 径 mm	残 留 率 %	加積通過率 %
53		
37.5		
19		
4.75		
2.36		
>		
計		

摘要 ----- JIS粒度範囲

粒 度 曲 線



試験者

受付番号

骨 材 試 験 成 績 表

報告用紙

受付年月日 年 月 日 試験年月日 年 月 日

工 事 名

工事場所

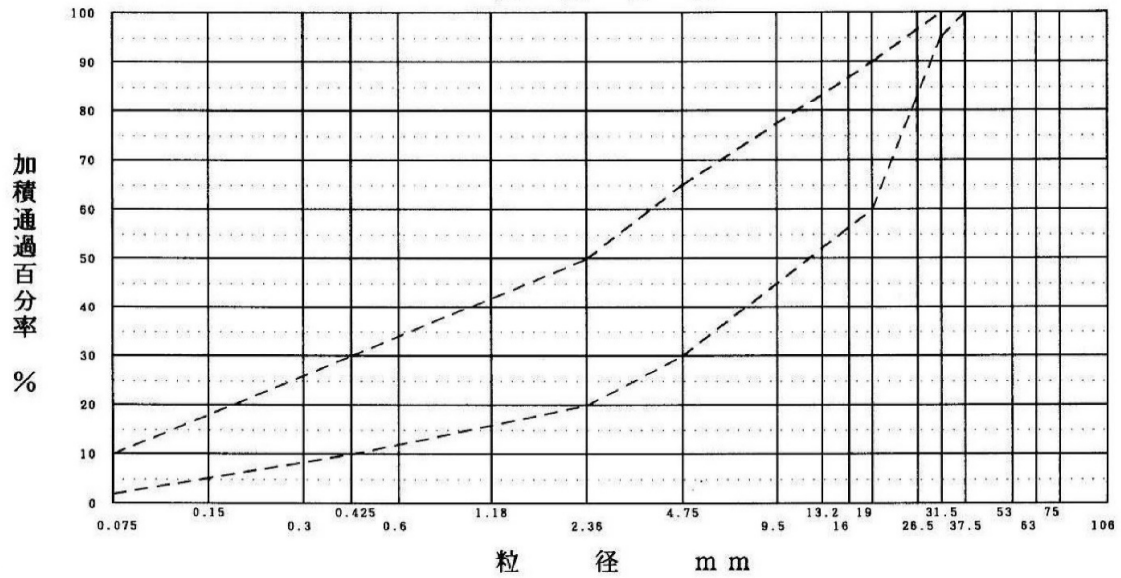
骨材種別 M-30 採取箇所

試験項目名	試験値
最適含水比 (%)	
最大乾燥密度 (g/cm ³)	
修正CBR (%)	
塑性指数	

粒 径 mm	残 留 率 %	加積通過率 %
37.5		
31.5		
19		
4.75		
2.36		
0.425		
0.075		
>		
計		

摘要 ----- JIS粒度範囲

粒 度 曲 線



試験者

受付番号		
------	--	--

骨 材 試 験 成 績 表

報 告 用 紙

受付年月日	試験年月日
-------	-------

工 事 名

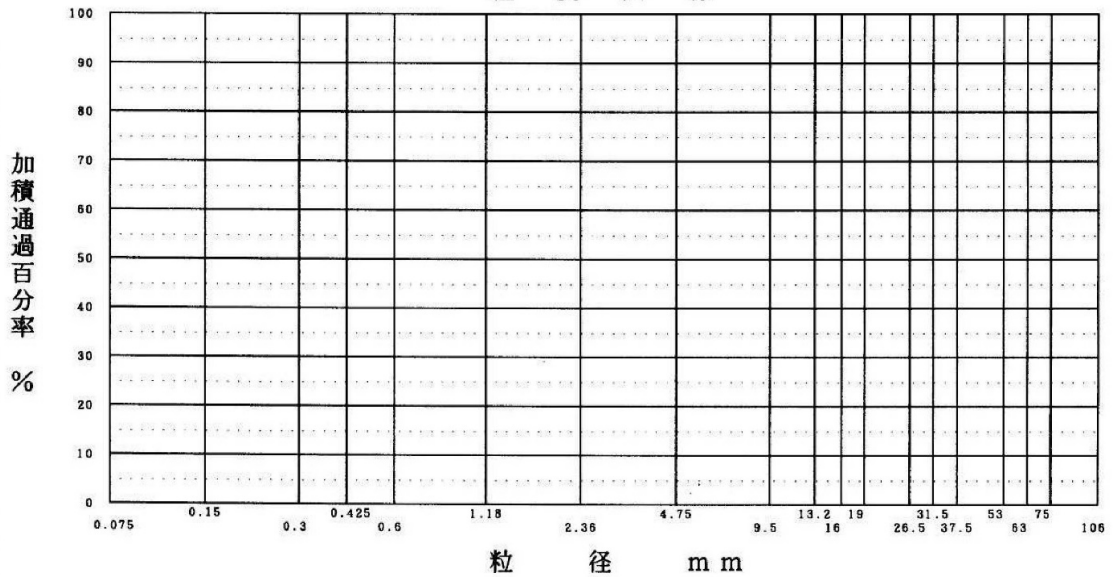
工事場所

骨材種別	採取箇所
------	------

試験項目名	試験値

粒 径 mm	残 留 率 %	加積通過率 %
計		

粒 度 曲 線



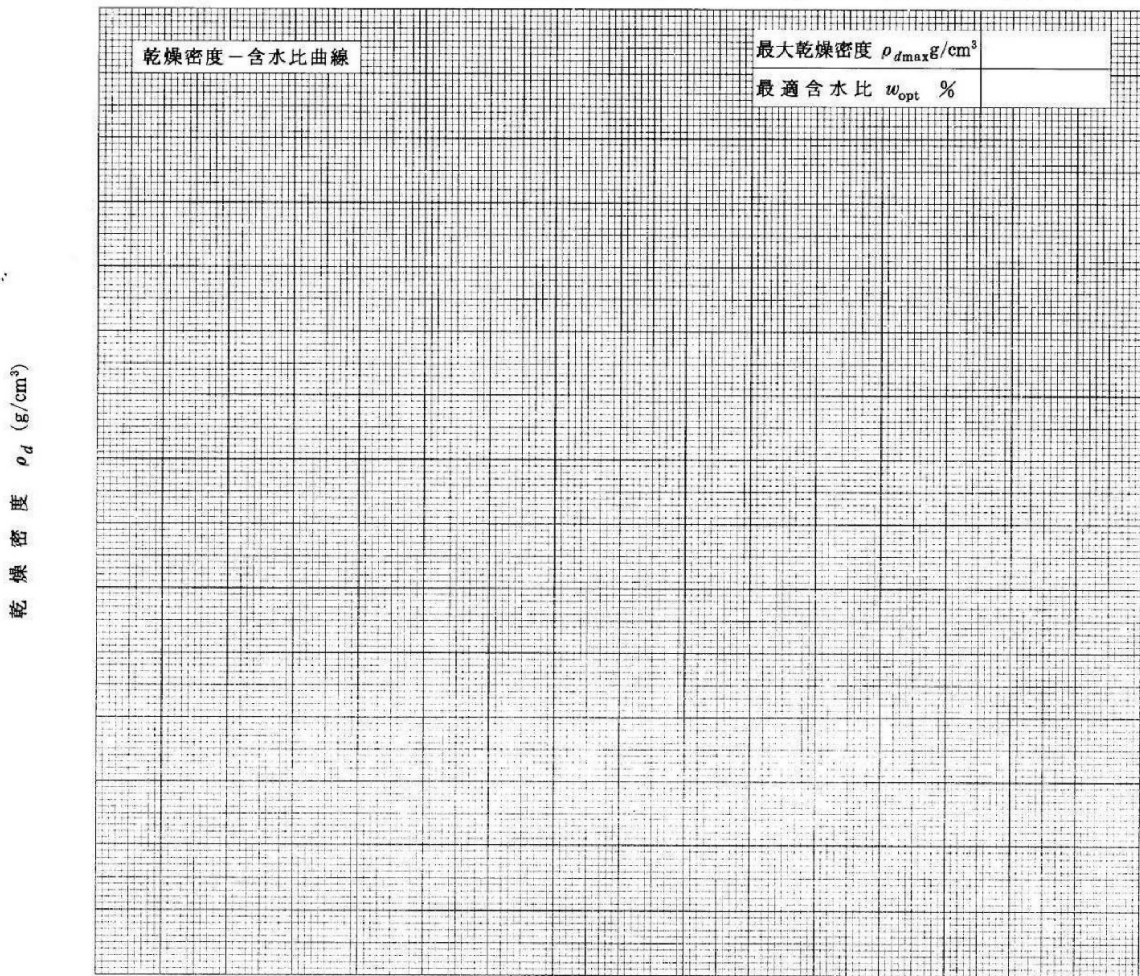
試 験 者	
-------	--

JIS A 1210 JGS T 711	突固めによる土の締固め試験 (締固め特性)	
-------------------------	-----------------------	--

調査件名 _____ 試験年月日 _____

試料番号 (深さ) _____ 試験者 _____

試験方法			土質名称					
試料の準備方法	乾燥法, 湿潤法		ランマー質量 kg		土粒子の密度 ρ_s g/cm ³			
試料の使用法	繰返し法, 非繰返し法		落下高さ cm		試料調整前の最大粒径 mm			
含水比	試料分取後 w_0 %			突固め回数 回/層		モールド	内径 cm	
	乾燥処理後 w_1 %			突固め層数 層			高さ ¹⁾ cm	
測定 No.	1	2	3	4	5	6	7	8
平均含水比 w %								
乾燥密度 ρ_d g/cm ³								



含水比 w (%)

特記事項

- 1) 内径15cmのモールドの場合はスペーサーディスクの高さを差引く。

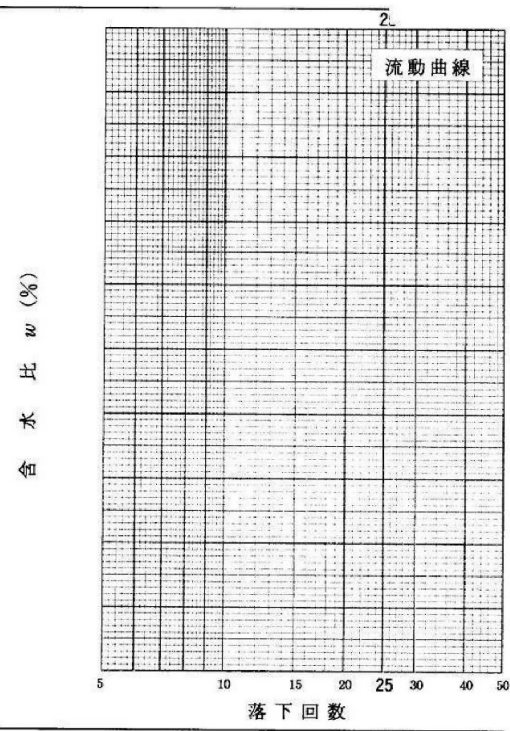
ゼロ空気間隙曲線の計算式

$$\rho_{dsat} = \frac{\rho_w}{\rho_w/\rho_s + w/100}$$

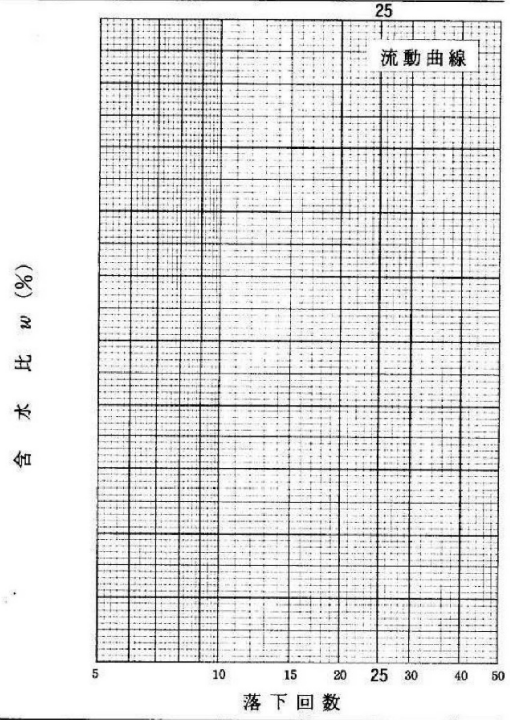
調査件名 _____ 試験年月日 _____

試験者 _____

試料番号(深さ)			
液性限界試験			
落下回数			
含 水 比	容器 No.		
	m_a g		
	m_b g		
	m_c g		
w %			
落下回数			
含 水 比	容器 No.		
	m_a g		
	m_b g		
	m_c g		
w %			
塑性限界試験			
含 水 比	容器 No.		
	m_a g		
	m_b g		
	m_c g		
w %			
液性限界 w_L %	塑性限界 w_p %	塑性指数 I_p	



試料番号(深さ)			
液性限界試験			
落下回数			
含 水 比	容器 No.		
	m_a g		
	m_b g		
	m_c g		
w %			
落下回数			
含 水 比	容器 No.		
	m_a g		
	m_b g		
	m_c g		
w %			
塑性限界試験			
含 水 比	容器 No.		
	m_a g		
	m_b g		
	m_c g		
w %			
液性限界 w_L %	塑性限界 w_p %	塑性指数 I_p	



特記事項 _____

受付番号

C B R 試 験

(乱した土の室内試験)

報告用紙

受付年月日 試験年月日

工 事 名

工事場所

採取箇所

試料状態

試料の含水比	%
67回3層の乾燥密度	g/cm ³
67回3層のCBR	%

供試体作製

突固め回数	湿潤モールド質量 g	モールド質量 g	湿潤供試体質量 g	モールド体積 cm ³	湿潤密度 ρ _t g/cm ³	乾燥密度 ρ _d g/cm ³
9 2 回 3 層						
4 2 回 3 層						
1 7 回 3 層						
6 7 回 3 層						

含水比測定

ma	mb	mc	w=	%	平均含水比	%
ma	mb	mc	w=	%		

貫入量 mm	0.5	1.0	1.5	2.0	2.5	5.0	7.5	
荷 重 kN	9 2 回							
	4 2 回							
	1 7 回							
	6 7 回							

C B R 標準荷重 kN

CBR %	9 2 回 3 層	4 2 回 3 層	1 7 回 3 層	6 7 回 3 層
	---	---	---	%

備 考

試験者

受付番号

第 号
平成 年 月 日

殿

財団法人 ○○○・・・・・・・・長

アスファルト混合物（抽出密度）試験結果通知書 ()

受付年月日	平成 年 月 日	試験年月日	平成 年 月 日	
工事名				
工事場所				
施工工種		混合所名		
採取箇所	項目	厚さ測定 (cm)	密度試験 (g/cu)	抽出試験 (%)
	層名			
	種類			
	基準値			
	No.			
	No.			
	No.			
平均値				
差及び締固度				
表示	種類	備考		
改20Ⅰ	ゴム入り密粒度20			
改20Ⅱ	樹脂入り密粒度20			
改20Ⅲ	ゴム+樹脂入り密粒度20			
改13Ⅰ	ゴム入り密粒度13			
改13Ⅱ	樹脂入り密粒度13			
改13Ⅲ	ゴム+樹脂入り密粒度13			
			試験者	

		受付番号								
発第 号 平成 年 月 日 殿 財団法人 <u>〇〇〇・・・・</u> 長										
JIS A 1108 コンクリート圧縮強度試験結果通知書 ()										
受付年月日	平成	年	月	日	試験年月日	平成	年	月	日	
工事名										
工事場所										
配合				粗骨材			養生			
生コン工場名				打設年月日			平成	年	月	日
圧縮強度試験成績										
供試体番号	材齢(日)	見掛密度(kg/m ³)			強度(N/mm ²)			適要		
		No.1	No.2	No.3	No.1	No.2	No.3			
備考										
								試験者		

出 来 形 管 理 表 (I)

工事番号 _____ 事務所名 _____ 受注者 _____
 工事名 _____ 監督員 _____
 工期 年 月 日 ~ 年 月 日 監督員 _____ 担当者 _____

測点	工種	基準高 mm			幅員 mm			工種	厚 さ mm						規格値			
		規格値			規格値				左		中		右			平均値		
		設計値	測定値	差	設計値	測定値	差		測定値	施工厚	測定値	施工厚	測定値	施工厚		測定値	施工厚	測定値
									①		①		①		①		①	
									②	②-①	②	②-①	②	②-①	②	②-①	②	②-①
									③	③-②	③	③-②	③	③-②	③	③-②	③	③-②
									④	④-③	④	④-③	④	④-③	④	④-③	④	④-③

出 来 形 管 理 表 (II)

測点	工種	基準高 mm			幅員 mm			工種	厚 さ mm						規格値			
		規格値			規格値				左		中		右			平均値		
		設計値	測定値	差	設計値	測定値	差		測定値	施工厚	測定値	施工厚	測定値	施工厚		測定値	施工厚	測定値
									①		①		①		①		①	
									②	②-①	②	②-①	②	②-①	②	②-①	②	②-①
									③	③-②	③	③-②	③	③-②	③	③-②	③	③-②
									④	④-③	④	④-③	④	④-③	④	④-③	④	④-③

出 来 形 管 理 図

工事番号 _____
 工事名 _____

工 種 _____

測 点															
基準高 (mm)	SU														
	CL														
	SL														
幅 員 (mm)	SU														
	CL														
	SL														
厚 さ (mm)	SU														
	CL														
	SL														

工 種 _____

測 点															
基準高 (mm)	SU														
	CL														
	SL														
幅 員 (mm)	SU														
	CL														
	SL														
厚 さ (mm)	SU														
	CL														
	SL														

工 種 _____

測 点															
基準高 (mm)	SU														
	CL														
	SL														
幅 員 (mm)	SU														
	CL														
	SL														
厚 さ (mm)	SU														
	CL														
	SL														

テストハンマーによる強度推定調査結果

測定方法： 土木学会規準「硬化コンクリートのテストハンマー強度の試験方法 (JSCE-G504)」

工 事 名						
工 事 場 所						
工 種						
調 査 プ ロ ッ ク						
生 コ ン の 種 類						
測 定 番 号						
調 査 位 置						
打 設 年 月 日						
調 査 年 月 日						
材 齢 (日)						
材 齢 係 数 (α)						
打 撃 方 向						
角 度 補 正 値 (β)						
測 定 面 の 乾 燥 状 況						
乾 燥 状 況 の 対 する 補 正 値 (γ)						
	測 定 値	棄 却	測 定 値	棄 却	測 定 値	棄 却
反 発 度	1					
	2					
	3					
	4					
	5					
	6					
	7					
	8					
	9					
	10					
	11					
	12					
	13					
	14					
	15					
	16					
	17					
	18					
	19					
	20					
平 均 値 (測定反発度)						
追 加 反 発 値	21					
	22					
	23					
	24					
	25					
棄 却 後 の 平 均 値 (測定反発度 R)						
テ ス ト ハ ン マ ー 強 度 F (N/mm ²)						
平 均 値 (N/mm ²)						
規 格 値	個 々 の 強 度	設計基準強度の85%以上				N/mm ² 以上
	平 均 強 度	設計基準強度以上				N/mm ² 以上
備 考						測 定 者

注) $F(N/mm^2) = (-18.0 + 1.27 \times R_0) \times \alpha$ $R_0 = R + \beta + \gamma$
 測定された20点の中で平均値から±20%以上の値がある場合は、その棄却欄に「*」又は「除外」とし、計算から除外し、その数だけ追加反発値欄に追加すること。また、自記記録紙を別紙で添付すること。

排水性・透水性舗装の現場透水量試験

工事番号 _____
 工事名 _____
 工事種 _____
 細別 _____
 試験年月日 _____年 _____月 _____日～ _____年 _____月 _____日 試験者 _____

測 点	測定年月日	水400mlの流下時間(秒)				透水量 ml/15秒	備 考
	天候 気温	t ₂	t ₃	t ₄	平均 t		
	°C						
	°C						
	°C						
	°C						
	°C						
	°C						
	°C						
	°C						
	°C						
	°C						
	°C						
	°C						
	°C						
	°C						

試 験 個 数		
透 水 量	最 小 値	ml/15秒
	最 大 値	ml/15秒
	平 均 値	ml/15秒
規 格 値	個々	ml/15秒 以上
	X ₁₀	ml/15秒 以上

摘 要

- 1) 試験方法は、公益社団法人 日本道路協会「舗装調査・試験法便覧」平成19年6月 による。

$$\text{透水量 } V_w(\text{ml/15秒}) = (400 \div t) \times 15$$

単 位 水 量 試 験

工事番号										コンクリートの種類			
工事名										試 験 者			
単位水量	試験回数	回	最大値	kg/m ³	最小値	kg/m ³	平均値	kg/m ³	規格値	kg/m ³			
番 号													
試 験 月 日													
天 候													
単 位 水 量													
設 計 値 の 差													
+ 25													
20													
15													
10													
5													
0													
5													
10													
15													
20													
- 25													